

顧問 中田 章道 七段

発行責任者 小林 壮行

1 第64期王位戦第1局が豊田市内で開催

伊藤園お〜いお茶杯第64期王位戦の第1局が、令和5年7月7日（金）・8日（土）に豊田市能楽堂で開催されました。

藤井聡太王位に、佐々木大地七段が挑戦となりましたが、平行して第94期ヒューリック杯棋聖戦でも同じ顔合わせという連続してのタイトル戦となりました。（棋聖戦は、7月18日（火）に第4局が行われ、藤井棋聖が3勝1敗で防衛しました。）

対局は、佐々木七段が横歩取りの戦型に誘導し、中盤にかけてやや優位にたちましたが、藤井王位が中央から反撃し、正確な終盤力を発揮して97手で勝利し、4連覇に向け好スタートを切りました。

立会人の石田和雄九段は、「序中盤でポイントを稼いだ佐々木七段が模様よく指し進めていたが、決め手を与えない藤井王位の指し回しが光った1局でした」と総括しました。

大盤解説会は豊田産業文化センター小ホールで、8日（土）午後2時から終局まで行われました。解説は杉本昌隆八段、室田伊緒女流二段、鎌田美礼女流2級でした。

また、6日（金）夜には、豊田市コンサートホールにて、前夜祭が開催されました。



2 蒲郡発！猛暑とコロナと台風と

第41回蒲郡将棋名人戦が去る8月6日（日）に蒲郡市三谷公民館で開催されました。今夏ほどエアコンのありがたさを実感したことはありませんでした。とにかく茹だるような猛暑の日々、そしてコロナ禍での制約された活動、そして台風の接近と、主催者泣かせの三拍子揃い踏みです。コロナはすでに四年が経つんですね、何をかいわんやです。振り回され続けている自分も情けなく感じるがあります。

さて、当支部のY君は若者には珍しく常に積極的に活動を手助けしてくれる頼もしい存在です。大会となればいちいち説明やら指示をしなくても先へ先へと物事をテキパキと処理してくれます。おそらく職場でもそうであるのでしょう。

ところで、大会は前回に比べて反則負けが見られなかったことです。ほっとしています。必ずなにかが起きていたことですから不思議なくらいです。但し、気になることもありました。両手使いが散見されたことです。そして「王手！」もそうですね。いけないことで



はないのですが、昔からの癖でしょうか。競技は順調に進んで決勝トーナメントを迎えました。今回こそはと気合十分のみなさん、大熱戦の末、歓喜と悲哀と落胆。どことなく人生の縮図を見ているようでした。

次の皆さんが入賞されました。

蒲郡支部 棋道師範 小田賢一

	優勝	準優勝	第三位
Aクラス 17名	川合 秀知 (岡崎市)	富増 将斗 (名張市)	高見澤 勝利 (刈谷市)
Bクラス 14名	加藤 衛治 (蒲郡市)	野村 政行 (豊川市)	成田 晴岳 (知多郡東浦町)
Cクラス 8名	三輪 勝美 (豊川市)	布藤 忍 (蒲郡市)	梅田 颯汰 (蒲郡市)

3 第77回全日本アマチュア将棋名人戦愛知県大会

7月17日(月・祝)、第77回全日本アマチュア将棋名人戦愛知県大会を開催したところ、59名が参加して熱戦を繰り広げました。

プロの棋戦でも実績のある水谷創さんと稲葉聡さんが順当に勝ち上がり、全国大会に駒を進めました。常連のお二人ですが、このところ愛知県は層が厚くなり、揃っての県代表は久しぶりのようです。

今回は、大山康晴十五世名人生誕100周年記念大会ということで、9月1日から3日にかけての全国大会は倉敷市で開催されます。お二人が決勝戦で顔を合わせることを期待しています。

優勝	準優勝	第三位
水谷 創 (名古屋市北区)	伊藤 慧 (瀬戸市)	竹川 和 (名古屋市港区)
		羽生 大輝 (名古屋市南区)
稲葉 聡 (名古屋市守山区)	上村 友大 (名古屋市中区)	吉岡 孝司 (みよし市)
		磯貝 仁太郎 (碧南市)

【東海普及連合会及び愛知県支部連合会の行事の日程】

1. 8月27日(日) 瀬戸将棋まつり
2. 9月16日(土) 名古屋城こども王位戦決勝大会
3. 10月9日(月・祝) J:COM杯子ども将棋大会

会報の配信をご希望の方は東海普及連合会事務所までご連絡ください。東海普及連合会のウェブサイト (<http://shogitokai.sakura.ne.jp>) からダウンロードもできます。東海普及連合会、愛知県支部連合会へのご意見がございましたら遠慮なくご連絡ください。

東海普及連合会事務所 (平日PM1:00~4:00)

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目12番21号第2栄スカイタウン4A

電話 052-253-9441 FAX 052-253-9442 E-mail shogi_tokai@ybb.ne.jp